



## 地域おこし協力隊 (一社) 気仙沼地域戦略

織笠 有加里 さん

おりかさ ゆかり

**Profile** / 1993年生まれ。仙台市出身。  
2017年12月にIターン。  
唐桑町まちづくり協議会にも勤務。  
市主催「ぬま大学」4期生。

### 「お仕事の内容」は

観光で「稼ぐ」まちを目指し、気仙沼クルーカードの運営のほか、気仙沼に来てけらいいん（観光ポータルサイト）の運営、観光プログラムの構築などを行っています。今年、新たに地元の酒蔵・飲食店と協力し、観光客が直接造り手と交流しながら飲食できるプログラムを手がけました。課題は多くありましたが、造り手と観光客の間に交流機会をつくったことで、観光客が造り手のファンとなり、プログラム翌日にも酒蔵を訪れるなど、人同士の交流が観光価値になることを身をもって体験しました。その交流の土台をより良いものに練り上げていく最中ですが、仕事にとってもやりがいを感じ、毎日充実しています。

### 「移住のきっかけ」は

気仙沼との縁は、2012年の冬に大学の研究室の活動で、たまたま気仙沼の唐桑地域に入ったことでした。生まれても育ちも仙台市の私は当時、どこか他の地域に通うなんて思ってもみませんでした。元々内向的な性格なので、学校以外の人に会うこと自体

が新鮮な体験で、例えば、漁師がその場で牡蠣を食べさせてくれたことなどが強く印象に残っていました。「こんな生き方もあるんだ！」と、新しい価値観が自分に芽生えしました。大学卒業後、仙台で就職して4年目に差し掛かる際、「自分はこの先何がしたいんだろう？」という考えが浮かび、さまざまな選択肢を検討するなかで、気仙沼の移住・定住支援センターに相談をすることに。ここでは、既に移住していた先輩が、気仙沼生活を生き生き語っていました。そんな同世代のキラキラした姿がうらやましく思えて、そこに私もハマりたい！と思ったのが一番です。仕事と住まいをすぐに紹介していただけたので、気仙沼にすればなんとかなるだろう（笑）と、移住を決めました。先人が多くいたので、暮らしのイメージが湧きましたね。

### 「今後について」

地域おこし協力隊の任期は12月で終了しますが、来年以降も今の法人やまち協の仕事、仲間と一緒に銭湯友の湯を盛り上げる活動をしながら、引き続き気仙沼で暮らしていきたいです。

気仙沼  
クルーカード  
使って  
ますか？



応援消費で街に元気を  
フレイ！フレイ！  
地元キャンペーン  
第3弾はじまります

気仙沼クルーシップでは、今年4月からの気仙沼クルーカード利用者がもうすぐ延べ10万人を突破します。

コロナ禍の中、ご利用頂いている多くの皆さまへの感謝の気持ちとして、また地域内の経済循環のさらなる活性化のため、11月1日（日）から11月30日（月）まで、気仙沼クルーカードを利用した際のクルーへのポイント付与を**3倍**に引き上げるとともに、売り上げの**3%相当額**を加盟店に還元します。

また利用者数10万人目のクルーには特典を用意しています。お楽しみに！（詳細は公式サイトをご覧ください）



